

重点施策 「いつでも・どこでも・だれでも」学べる生涯学習の推進

評価実施者	所 属	社会教育課
	職・氏名	課長・竹谷和徳

重点施策の概要	目 的	「いつでも・どこでも・だれでも」が学び、成果を生かした生涯学習を推進するため、生涯学習情報をインターネット等を通じて発信するとともに、学びの仲間づくりや成果発表の機会の拡充など、子どもから高齢者まで生涯各期の生き生きとした生涯学習活動を推進する。
	今年度の主要事業	①青年交流プラザの開設による青年間の積極的情報交換の実現 ②「福寿大学」を通じた高齢者の社会参加・学習意欲の充実 ③ツイッター、フェイスブックなどインターネットを活用した生涯学習情報の提供

事業の目標と実績	区 分		単 位	H21	H22	H23	特記事項
	1	青年活動団体数	目標 実績	団体	7	7	
2	60歳以上の人口に対する福寿大学生の割合	目標 実績	%	1.0%	1.0%	0.9%	
3	福寿大学生平均出席率	目標 実績	%	58	60 61	61 59	
4	ツイッター、フェイスブックの顧客数	目標 実績	人			300 180	
5		目標 実績					

事業の分析効果の検証

①**青年活動**については、これまで勤労青少年ホームを拠点とした青年活動の支援から、対象を広げ市内で活動する青年団体の情報交換の支援に変更。青年交流プラザ活動を開始し、これまでつながりのなかった団体間の情報交換が活発に行われはじめた。
3月に行われた青年活動発表会には、100人の参加者があった。青年活動への関心の高さをうかがわせた。

②**福寿大学**については、さらに自主的な活動を促すため、自治会活動の強化に取り組んだ。これまで行政主導の大学運営であったため平成23年度は、学生の戸惑いがあり、自主的な活動へのシフトに時間を要した。

③**生涯学習情報の提供**については、ツイッターやフェイスブックなど、インターネット上の汎用性の高いツールを使っての情報提供を開始し、滝川市民のみならず、滝川市の社会教育の取り組みを発信する基礎ができた。

課題

①青年活動については、団体に属している青年間のつながりはできつつあるが、どこにも属していない青年の仲間づくりの方法

②福寿大学については、自主的な自治会活動の定着をはかるための仕組みづくりと学生の意識改革
団塊世代など新たなシルバー世代が求めている学習プログラムの開発

③インターネット情報を使える市民を増やすための講座などの開講

評価	A	<p>評価の視点1 期待どおりの効果があったか 生涯各期の学習活動を支援する目的のなかで、今年度は特に青年及び高齢者の学習活動に力をいれた。過渡期ではあるが、目指す形がしっかりと見えたことは、期待どおりの効果があった。</p> <p>評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の余地があるか 今後も市民の自発的な生涯学習活動を支援する形を基本とし、個々の事業の中で進めていく。</p>
----	----------	---

【評価の区分】

- A: 期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する
- B: ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある
- C: 概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である。
- D: 期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要

事業の今後の方向性	<p>各事業を目標と時代背景に照らし合わせ、個々の事業の質的向上を目指し、市民が自発的な活動を支援する体制を強化したい。</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小・統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 質的向上 <input type="checkbox"/> スピードアップ <input type="checkbox"/> 検証 <input type="checkbox"/> 継続</p>
-----------	---

◎外部評価委員の評価・意見等

点検・評価に関するコメント	<p>・組織化されていない部分もあるが、非常に展望が見えてきており、大きな一歩だと思う。</p> <p>・ツイッター、フェイスブックによる情報提供なども、時代の流れに合わせて行われているのが良い。</p>
---------------	--